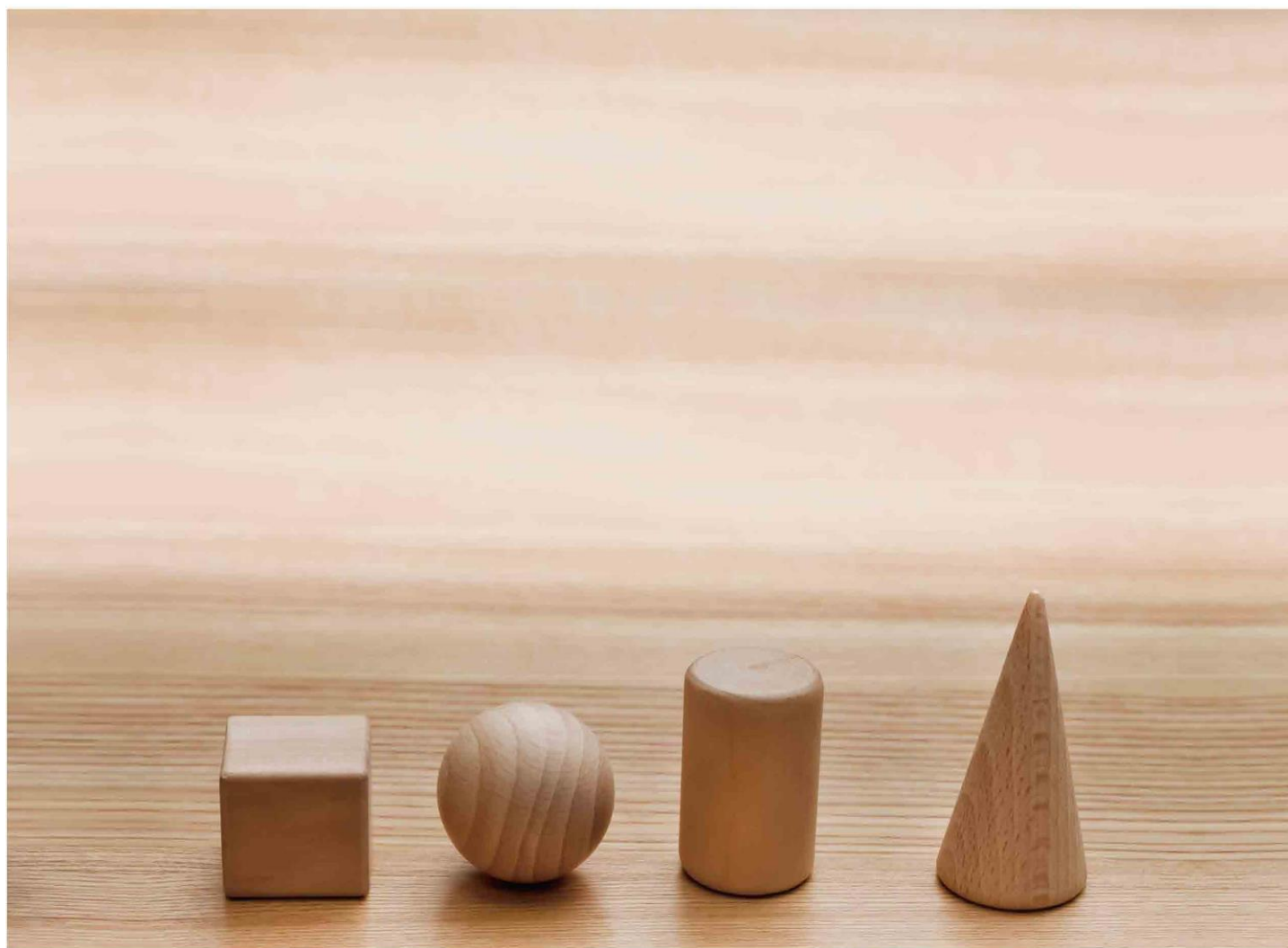




平成30年度 長野県木育推進事業

長野県児童・生徒 木工工作コンクール 事業報告書



- 主催：長野県木材青壮年団体連合会
- 共催：長野県／中部森林管理局／(公財)長野県緑の基金／長野県県産材振興対策協議会／長野県木材協同組合連合会
- 後援：長野県教育委員会／(財)長野県建築住宅センター／長野県森林組合連合会／NHK長野放送局／SBC信越放送／NBS長野放送／TSBテレビ信州／
abn長野朝日放送／長野エフエム放送／新建新聞社／長野県民新聞社

長野県木青連事務局（県木連内）

〒380-8567 長野市岡田町30-16
TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580

メール：n-msr@siren.ocn.ne.jp
WEB：http://n-msr.com/

もくせいれん

検索

第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会

【後援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対象者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】
- (1) テーマ
自由（ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること）
 - (2) 大きさ
タテ・ヨコ・高さ それぞれ60cm以下とする。
 - (3) 締切り
平成30年10月 5日(金)
 - (4) 送り先
最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】

年月日	場 所	内 容
平成30年 7月上旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付 各関係機関へ依頼書送付
7月～ 9月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中) 各材料の提供配布は地元会員が手配
10月 5日	県下全域	作品応募締め切り（作品の回収）
10月 6日～	県下全域	各地区審査会を実施
11月 2日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
11月 5日～ 9日	松本市	最優秀賞(県知事賞)等9作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
11月26日～30日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等9作品を長野県庁1階講堂前にて展示
12月 8日	長野市	長野市「長野市立博物館」にて表彰式
平成31年 1月20日	全 国	全国児童生徒木工工作コンクール 一次審査
3月 3日	岐阜県	全国児童生徒木工工作コンクール 二次審査
6月22日	愛知県	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

- 【審査基準】 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なった。
- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
 - ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
 - ・機能、デザインが優秀であること。
 - ・工作技術が優秀であること。

【審査会】 平成30年11月 2日(金) 松本合同庁舎(109会議室)

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター
専門主事 宮原 啓一 様
審査委員 長野県林務部 信州の木活用課
県産材利用推進室
室 長 丸山 勝規 様
林野庁中部森林管理局 中信森林管理署
次 長 中村 栄一 様
(公財)長野県緑の基金
常務理事兼事務局長 関 眞一 様
長野県県産材振興対策協議会 理事
長野県木材協同組合連合会 専務理事
小島 和夫 様
長野県木材青壮年団体連合会
会 長 澁澤 一吉 様
長野県木材青壮年団体連合会
直前会長 田中 一興 様
長野県木材青壮年団体連合会
副 会 長 土倉 宜也 様
長野県木材青壮年団体連合会
副 会 長 降幡 聡 様
計 9名



・外部審査委員（左手前から）
長野県林務部 信州の木活用課
県産材利用推進室 丸山室長様
林野庁中部森林管理局 中信森林管理署 中村次長様
長野県総合教育センター 宮原専門主事様
長野県木材協同組合連合会専務理事・
長野県県産材振興対策協議会理事 小島様
(公財)長野県緑の基金 関常務理事様

【審査風景】 平成30年11月 2日(金) 松本合同庁舎 (109会議室)



【展示風景】 平成30年11月 5日(月)～ 9日(金) 松本合同庁舎 1 階ロビー
平成30年11月26日(月)～30日(金) 長野県庁 1 階ロビー



【表彰式】 平成30年12月 8日(土) 長野市「長野市立博物館」



第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
じいちゃんと作った水車小屋 ※1	清 水 大 我	上田市立長小学校	4 年
ワシ ※2	宮 嶋 真	小谷村立小谷小学校	6 年
スタンド ※3	清 水 太 陽	原村立原中学校	1 年

※1：全国児童・生徒木工工作コンクール「損保ジャパン日本興亜環境財団賞」受賞

※2：全国児童・生徒木工工作コンクール「全国造形教育連盟委員長賞」受賞

※3：全国児童・生徒木工工作コンクール「ウッドワン賞」受賞

2. 長野県教育委員会賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
鯉	中 澤 裕 輝	伊那市立春富中学校	3 年

3. 林野庁中部森林管理局 局長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
きのこの森	高 橋 莉 心	南木曽町立南木曽小学校	2 年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
森のツリーハウス	藤 沢 碧 海	高山村立高山小学校	4 年

5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
和の明り	鈴 木 天 翔	南木曽町立南木曽小学校	5 年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
登竜門	須 田 蓮 也	佐久穂町立佐久穂小学校	5 年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
蟬の羽化 ※4	原 悠 人	南木曽町立南木曽小学校	6 年

※4：全国児童・生徒木工工作コンクール「ウッドワン賞」受賞

8. 優 秀 賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
ハリネズミのえんぴつたて	柿 澤 篤 志	長野市立芹田小学校	3 年
大きなさかなをつりたいな	長 張 龍 音	須坂市立旭ヶ丘小学校	1 年
サッカーゲーム	白 倉 陽 彩	東御市立滋野小学校	4 年
やき鳥屋	内 堀 世 椰	御代田町立御代田北小学校	2 年
泉小太郎とその仲間たち	赤 羽 善	大町市立大町南小学校	2 年
棚スタジアム	向 山 恭 平	茅野市立宮川小学校	6 年
ライチョウ	伊 藤 海 成	茅野市立豊平小学校	6 年
しきりが動く棚	菊 池 紫 音	原村立原中学校	1 年
赤沢森林鉄道	上 田 琢 磨	上松町立上松小学校	4 年
ブタのちょきん箱	日 室 果 依	南木曽町立南木曽小学校	4 年

■第41回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

総 参 加 人 数	4,608 名
参加学校	
小学校	131 校
中学校	2 校
盲・ろう・養護学校	0 校
合 計	133 校

審 査 会 出 品 数	62 点
入選（入賞リスト 1～7）	9 点
優 秀 賞	10 点
佳 作 賞	551 点
努 力 賞	4,049 点
総 作 品 数	4,619 点

最優秀賞(長野県知事賞)

じいちゃんと作った水車小屋 ※1

上田市立長小学校 4年 清水 大我

※1: 全国児童・生徒木工工作コンクール
「損保ジャパン日本興亜環境財団賞」受賞

●作品を創ってみての感想

じいちゃんに教えてもらって1週間かけて作りました。
ノコギリで木を切ったり、ドリルであなをあけたりして作りました。
ボンドやしゅん間せつ着ざいなどで木をくっつけたりしました。
去年よりむずかしかったけど楽しかったです。
じいちゃんとやって楽しかったです。
来年もやりたいです。

●一番見てほしいポイントは

しょうじが開くところと水車がまわるところです。

水車は、じいちゃんと工夫をして建物の中にベアリングをつけて、水車がなめらかにまわるようにしたところです。

しょうじが、ちゃんと開くところとこまかいさんのところをみてほしいです。

●苦労した点は

うすの穴をほるところです。
ドリルを使ってほったのできんちょうしました。
あと木を切るところです。1mmでもずれると長さがたりなかったり、建物が曲がったりしてしまうからです。



●木に触れてどうでしたか

木はかたくて、ノコギリで切るのにコツがいりました。

ほかにも水車の形はむずかしかったので、最初に、穴をあけてから切ったり曲がらないようにゆっくり切ったりしました。

むずかしかったけど木はいいにおいでした。

最優秀賞(長野県知事賞)

ワシ ※2

小谷村立小谷小学校 6年 宮 嶋

真

※2: 全国児童・生徒木工工作コンクール
「全国造形教育連盟委員長賞」受賞

●作品を創ってみての感想

庭に生えている かれたケンボナシの木の皮をはがして干すのが大変だったけれど貼りつけて形になっていくのが楽しかったです。

やさしい顔になってしまったところが残念だったけれど、出来上がると思っていた以上にうまくできて良かったです。

受賞することができて、とてもうれしかったです。

●一番見てほしいポイントは

羽根の生え方がきれいに見えるように足先から細かく皮をちぎって貼っていったところです。

木の皮の色が、きれいに見えるように工夫しました。

そして、口ばしはくるみを割って使い足のツメは木の根を使いました。

●苦労した点は

ちょうどいい大きさの流木をさがして、元となる形を組み合わせて作るのがとても難しくて苦労しました。

流木は、糸魚川の下流の海で探しました。

砂浜に打ち上げられていた流木をその場で組み合わせてきめました。



●木に触れてどうでしたか

木は材料で手ざわりもちがっておもしろいと思った。

木の皮をはがす時はうすい皮が何枚も重なっていて、その中に小さな虫がたくさんすんでいて、木は空気をきれいにしてくれるだけではなく、虫たちのすみかになっていることもわかった。

最優秀賞(長野県知事賞)

スタンド ※3

原村立原中学校 1年 清水 太陽

※3：全国児童・生徒木工工作コンクール
「ウッドワン賞」受賞

●作品を創ってみての感想

この作品は、家族が、スタンドが欲しいと言っていたことから作りました。

昔、手をノミで怪我をして作るのが怖かったけど無事に作れて安心しました。

シンプルな作りですが、綺麗にできました。本当は、違う教科にしようとしたのですが家で親が木工の仕事をしていたので木工にしました。木で形をつくりそこにワーロンと言う紙をはりました。昔の作品も迫力があったので不安だったけど賞をもらってすごくうれしかったです。これから家族で使っていくのでその時がすごくたのしみです。自分でも想像よりうまくできていてびっくりです。来年もまた出したいなと思いました。

●一番見てほしいポイントは

ワーロンと言う紙でやっているの、360°明るくできると思えます。暗い時もこの作品1つでまわりをあかるくできると思えます。スタンドは周りを明るくするものなのでスタンドにピッタリだと思います。

木の所も少しすくねみにしているので、それでさらにあかるく見えると思います。寝る時にこのスタンドをつけたらいいかもしれません。明かりの色を赤にしたのも明るくするためです。

●苦労した点は

ライトを固定する台をつくるのがすごくむずかしかったです。少し形がまちがうと少し暗い所も出てしまうのでピッタリにするのがむずかしかったです。

同じ形の木をつくらなくちゃピッタリにできないので同じ長さの木を何本も作りました。

微調整も何回もして何日も没頭してやっと完成しました。

やった甲斐がある作品だと思います。



●木に触れてどうでしたか

やっぱり木の性質を知ってそれを利用してつくらないと折れたりしてしまうのでそこを気をつけてできたんじゃないかと思いました。

木でこんなことができたんだなと思い、木をもっと知りたいなと思いました。

また暇なときに木でもっといろいろな物をつくって家で使っていきたいです。

あまっている木とかもたくさんあるのでリサイクルして いろいろな物を作っていけたらなと思いました。

長野県教育委員会賞

鯉

伊那市立春富中学校 3年 中澤 裕輝

●作品を創ってみての感想

木は 保存の仕方によって割れたり曲がったりしてしまうので、作品を作っている途中の木の保存には特に気をつけていました。

この作品は、彫る見本の絵に動きがあるので、木に同じ様に彫るのが大変でした。

全て彫り終えるまでに沢山の時間と労力を費やしたけれど、完成した作品を見て、色や趣などの木でしか表現できない良さを改めて感じる事が出来ました。

この度は、長野県教育委員会賞に選んで頂き有難うございました。これからは、楽しく木彫りを続けていきます。

●一番見てほしいポイントは

この作品で一番悩んで時間をかけた鯉全体の雰囲気、動いてるように見える背びれ、鯉の顔の三つです。

●苦労した点は

苦労した点は三つあります。一つ目は、一枚の板にいろんな方向に目が入っていたことです。場所によって彫る向きを変えないと逆目になってしまうので とても苦労しました。

二つ目は、鯉の丸みを出すために とても深く木を彫らなければならなかったことです。根気と力が要る作業でした。

三つ目は、諸事情でとても製作期間が限られていて、集中して 一日七時間など長い時間彫り続けなければ間に合わなかったことです。



●木に触れてどうでしたか

今回の経験を通して、たくさん木のことを考えました。

例えば どうしたら木が変形しないか、どうやったらキレイに彫れるか などです。

そして、どれも正しく使うと木もそれに こたえてくれるということが分かりました。

これからも正しく木に合った使い方をしていきたいです。

林野庁中部森林管理局長賞 きのこの森

南木曽町立南木曽小学校 2年 高 橋 莉 心

●作品を創ってみての感想

この作品にしたのは、学校でもらったざいりょうがキノコの形に見えたからです。

お父さんもよくキノコをとってくるので森に生えているところを作ったらおもしろいと思いました。

もらったざいりょうだけではたりなかったので、お父さんにキノコが生えそうな木をとってきてもらいました。木をわってキノコをつけていきましたが、高さのちがいやバランスがむずかしかったです。キノコができてから、森には どうぶつもいると思ってとりも作ることにしました。のこったざいりょうで上手くできるか心配でしたが、上手にできてよかったです。

らい年は、さいゆうしゅうしょうをとりたいです。

学校でもらったざいりょうがやくだってよかったです。

●一番見てほしいポイントは

キノコの高さのちがいや色とバランス、とりがなかよさそうなところです。

●苦勞した点は

キノコのバランスと、とりのくちばしをつけるところが細くてむずかしかったです。



●木に触れてどうでしたか

木はさらさらのものやゴツゴツのもの、おもいもの、かるいものと色んなしゅるいがあっておもしろいです。

公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞 森のツリーハウス

高山村立高山小学校 4年 藤 沢 碧 海

●作品を創ってみての感想

夏休みキャンプに行って木や木の実を集めました。

何を作ろうか考え、ツリーハウスを作ることになりました。

ごつごつした木の皮を屋根にしようと思いました。でもつけるのが、むずかしくて何回もこわれてしまったけど、できあがったときは、とてもうれしかったです。

木の実でうさぎや花、きのこを作りました。

小枝ではしごを作りました。はしごが上手にできてよかったです。くねくねしてたり、まっすぐだったり、つるつるしてたり、ごつごつしてたり、太かったり、細かったり、色々な木をどうやって使うか考えながらツリーハウスを作るのが とても楽しかったです。

賞をもらえてうれしかったです。

●一番見てほしいポイントは

ツリーハウスです。

ツリーハウスの屋根を作るとき、木の皮をはいて屋根の形にしていくなのがとてもむずかしかったの、そこを見てほしいです。

●苦勞した点は

太い木を切るのが、かたくて時間がかかり苦勞しました。



●木に触れてどうでしたか

折れやすかったり、かたかったり、ざらざらしていたり、ごつごつしていたりして、どうやって使うか考えるのがむずかしかったけど楽しかった。

長野県県産材振興対策協議会 会長賞 和の明り

南木曾町立南木曾小学校 5年 鈴木 天 翔

●作品を創ってみての感想

木の特徴を知りながら楽しく創れてよかった。

「木目」で、やぶれてしまったり「木目」で、おれやすくなったり「木目」がすごく創るときのキーワードになり「木目」が、ぼくと木が「相棒」になった。

初めて県までもっていかれて、初めて町の中でも銀賞と町長特別賞の2つの賞も初めてでなにもかもが初めてですごくうれしかった。

うれしさといっしょに作ってよかったと思った。
初めての体験をありがとうございました。

●一番見てほしいポイントは

ライトをつけると和柄がかがでうきでるところ。

上に木のうすい曲がる板を組んでまわりだけではなく上もきれいに見えるようにしたところ。

●苦労した点は

やはり、和柄を切ったこと、上のあみものをしたところ。



●木に触れてどうでしたか

うすい板のような木をつかった時に最初はじがやぶれてきてしまいくろうした。

長野県木材協同組合連合会 理事長賞 登竜門

佐久穂町立佐久穂小学校 5年 須田 蓮 也

●作品を創ってみての感想

ウロコを1こづつ作るのははるのもとても大変でした。はり始めたらイメージどおりの竜になったのががんばって最後まではれました。

カンナを使って雲を表現しました。カンナは今までも使ったことがあったので思ったより簡単でした。

全部作るのに1ヶ月かかりました。完成した時は、すごくうれしかった。

今回は、おじいちゃんに手伝ってもらったおかげで想像した通りに竜が出来てうれしかったです。

長野県の有名なリンゴはぼくの大好きなのでその木を使って作品を作れたので良かったです。

これからも長野県の木を大切にしていきたいです。

●一番見てほしいポイントは

一番見てほしいのは、ウロコです。

なぜなら作るのははるのもすごく時間がかかったからです。1枚1枚でいねいに作ることで、竜のしなやかさが表現できたのではないかと思います。

二番に見てほしいのは、顔です。

ひげもキバも竜に見えるようにつけました。竜のひげに合いそうな枝をみつけられたのでそこもみてほしいです。

●苦労した点は

木のぼうをウロコをはるためにすべすべにしました。そのためにヤスリがけをしたのですが電動のものを使ったので大変でした。

一番大変だったのはウロコです。ウロコ同士が重ならないようにはるのが大変でした。



●木に触れてどうでしたか

木の種類 手ざわりがちがいました。
うすく雲にしたけずりかすは表面がツルツルしてました。

こんな風にけずれるのがおもしろかったです。

ぼくの家には木がたくさんあります。
サクラ、リンゴ、ひの木など木の種類によってかたさや、におい、色がちがいます。

蟬の羽化 ※4

南木曽町立南木曽小学校 6年 原 悠 人

※4：全国児童・生徒木工工作コンクール
「ウッドワン賞」受賞

●作品を創ってみての感想

夏休みに蟬の羽化を見て木工工作で作ろうと思いました。

木の角材を削って、胴体を作りました。

難しかった所は、足で固定する所でした。

蟬の脱け殻を茶色く塗りました。

おじいちゃんにも手伝ってもらいながら作りました。

けっこう、よくできたと思いました。

●一番見てほしいポイントは

蟬が脱け殻に捕まっている所

●苦労した点は

蟬の足で固定する所



●木に触れてどうでしたか

削ると、木の良い香りがした。

触れて、創って、知る ウッドコしクション



長野県木材青壮年団体連合会

〒380-8567 長野市岡田町30-16

メール: info@n-msr.com

TEL: 026-226-1471 FAX: 026-228-0580

WEB: <http://n-msr.com/>